

子育て世代に対する「救急受診ガイド」の利用促進 ～ウェブメディア「cozre マガジン」と連携した効果的な広報～

神奈川県 横浜市消防局

はじめに

横浜市消防局では、急な病気やけがで救急車を呼ぶか病院へ行くか迷ったときに、御自身で緊急性を判断するための一助となることを目的として、平成26年12月から「横浜市救急受診ガイド」（以下「救急受診ガイド」という。）の運用を開始しました。そして、これまで、救急受診ガイドの利用促進を図るため、記者発表、ホームページへの掲載、地域情報誌での紹介、イベント等でのちらし配布など積極的に広報を行ってきましたが、平成27年度に市民アンケートを実施した結果、「救急受診ガイドを知っている」と答えた市民は約20%という結果にとどまりました。この結果を受け、より効果的な普及方法について検討していたところ、株式会社コズレから救急受診ガイドの「cozreマガジン」への掲載について御提案をいただき、新たな啓発活動を行いましたので紹介します。

「cozreマガジン」での広報啓発

「cozreマガジン」とは、一般のパパママがおすすめの子連れおでかけスポットや育児グッズ情報、育児のノウハウなどを投稿する子育てウェブサイトです。このウェブサイトを経営する株式会社コズレから「cozreマガジン」に救急受診ガイドを記事化して連載することについて御提案をいただいたのですが、救急受診ガイドの利用促進を当局ホームページ以外のウェブサイトで行うことは、新しい試みであり、子どもが急な病気やけがをしたとき対応に迷う子育て世代の方々へのPRとしても有効であると感じました。と言いますのも、子育てをしている若い世代の方々には、新聞や広報誌よりもパソコンやスマートフォンなどで情報を得ることが多く、特に、「cozreマガジン」は神奈川県内で約20万人（月間ユニークユーザー）の方が利用しているため、当局のホームページにだけ掲載するよりも、何倍もの方に見ていただけることが期待できます。また、「cozreマガジン」は、行政の堅いイメージとは異なり、利用者の視点に立った実践的な情報提供と読みやすく丁寧な編集

で、広く子育て世代の共感を得ています。救急受診ガイドの掲載においても、優しい色と分かりやすい写真で紹介していただきました。



「cozreマガジン」掲載の効果

行政のホームページはなかなか手軽に見てもらえないという問題がある中、子育て世代にとっては強い関心事である育児に対応した身近なウェブサイトである「cozreマガジン」に掲載していただいた結果、連載期間中の救急受診ガイドへのアクセス件数が早くも増加とするなど、「cozreマガジン」の掲載効果を実感できました。今回、「cozreマガジン」の子育て情報に救急受診ガイドの情報を織り交ぜることで、自然とユーザーに受け入れられたのではないかと思います。これをきっかけとして、多くの方に救急受診ガイドを知っていただくことで、急な病気やけがをした際はもちろんのこと、日頃からの安心につながることを期待しています。今後も伝えたい情報を当局ホームページにとどまらず、民間企業のウェブサイトにも幅広く連携するなどして、より多くの方々のお手元に命を守るホットな情報をお届けしたいと考えています。